

日ごろの練習の成果を発表

松浦市民文化祭（舞台発表）

平成 25 年度松浦市民文化祭（舞台発表）が 11 月 24 日、文化会館で開催されました。

この日は、市内各地区で活動するコーラス、日本舞踊や社交ダンスなど 27 団体が参加しました。

それぞれが日ごろの活動の成果を精一杯披露し、会場を訪れた大勢の観客から温かい拍手が送られていました。



まちの話題

Matsuura City Topics

ふるさとの伝説を熱演

「志佐物語 徐福と不老山」

夢と感動ミュージカル&ミュージックステージ（教育委員会主催）が 11 月 16 日、文化会館で開催され、志佐小学校の 6 年生 81 人がミュージカル「志佐物語 徐福と不老山」を上演しました。

このミュージカルは、志佐地域を一望する不老山の徐福伝説と淀姫神社にまつわる言い伝えを題材に、本市星鹿町出身の劇作家、岡部耕大さんが作・演出を手掛けた舞台劇。堂々と演技する子どもたちの姿に、約 300 人の観客からは大きな拍手が送られました。



税への理解を深める

国税庁などが中学生と高校生を対象に募集した「税に関する作文」の入賞者表彰式が 11 月 26 日、市民ホールで行われました。

この作文の募集は、将来を担う子どもたちに税への関心と理解を一層深めてもらうために、税を考える週間（11 月 11 日～ 17 日）に合わせて毎年実施されています。

平戸税務署管内では 1,843 点の応募があり、そのうち本市から選ばれた入賞者 7 人に対して、松浦市租税教育推進協議会長（友広市長）と平戸税務署長から賞状と記念品が贈呈されました。

入賞者は次の通りです（敬称略）。

【高校生】

< 松浦市租税教育推進協議会会長賞 >

浅田菜々子（松浦高校 1 年）

< 松浦市租税教育推進協議会優秀賞 >

平山 裕章（松浦高校 1 年）

松本 一朗（松浦高校 3 年）

「税に関する作文」の入賞者表彰式

< 平戸税務署長賞 >

松瀬ひかり（松浦高校 1 年）

【中学生】

< 松浦市租税教育推進協議会会長賞 >

犬養 真衣（志佐中 3 年）

< 長崎県納税貯蓄組合連合会会長賞 >

榎屋 瞳凧（青島中 2 年）

川田 そら（今福中 3 年）



松浦へようこそ！

マツカイ市親善訪問団

第13回マツカイ市親善訪問団（団員21人）が11月28日から12月2日まで本市を訪れました。

今回の団員には、マツカイ市長のディードリー・カマフォードさんや、今回が11回目の訪問となるビル・モロイさんも含まれています。

到着日の夜には松浦シティホテルで歓迎会が行われ、記念品の交換、今年のビル・モロイ杯 English スピーチコンテストの優勝者によるスピーチの披露や訪問団によるパフォーマンスも行われました。

滞在中は調川小学校や調川保育所の児童・園児と触れ合い、釣り体験や、市内外の施設見学をしました。

また夜は、それぞれが市民宅を訪問し、共に夕食を楽しむなどして交流を深めました。



もしもの時に備えて

長崎県原子力防災訓練

平成25年度長崎県原子力防災訓練が11月30日、松浦市を含む県北部地域を中心に実施されました。

この訓練は九州電力株式会社玄海原子力発電所の事故を想定。緊急時の通信連絡体制の確立、緊急時モニタリング活動などの災害対策の習熟と防災関係機関相互の協力体制強化を図るとともに、住民の原子力防災に対する理解を促進するため、毎年開催されています。

今回は、本市から市民や職員など約460人が参加しました。

避難誘導訓練では、市内各地から東彼杵町・川棚町・波佐見町に設置された避難所へのバスによる集団避難、およびマイカーでの自主避難が実施され、各避難所に併設された救護所ではスクリーニングなどの被ばく医療訓練が行われました。参加者たちは緊張した面持ちで職員の誘導に従い、避難時の行動を確認しました。

